

シリーズ秋田の先人たち

秋田油田開発の父

千蒲善五郎

文化十四（一八一七）年生

明治二十二（一八八九）年没

秋田市大町一丁目（上通町）生まれ



主な事蹟

明治元年、東京で輸入石油による灯火を見て本格的開発を志した。翌年から八橋で採油を開始し、同三年、歸命寺境内で灯油製造を始め、その後、ランプと石油の販売を行った。失敗を重ねながらも、中央資本と提携し大規模な石油開発を実行。秋田油田の礎を築いた。